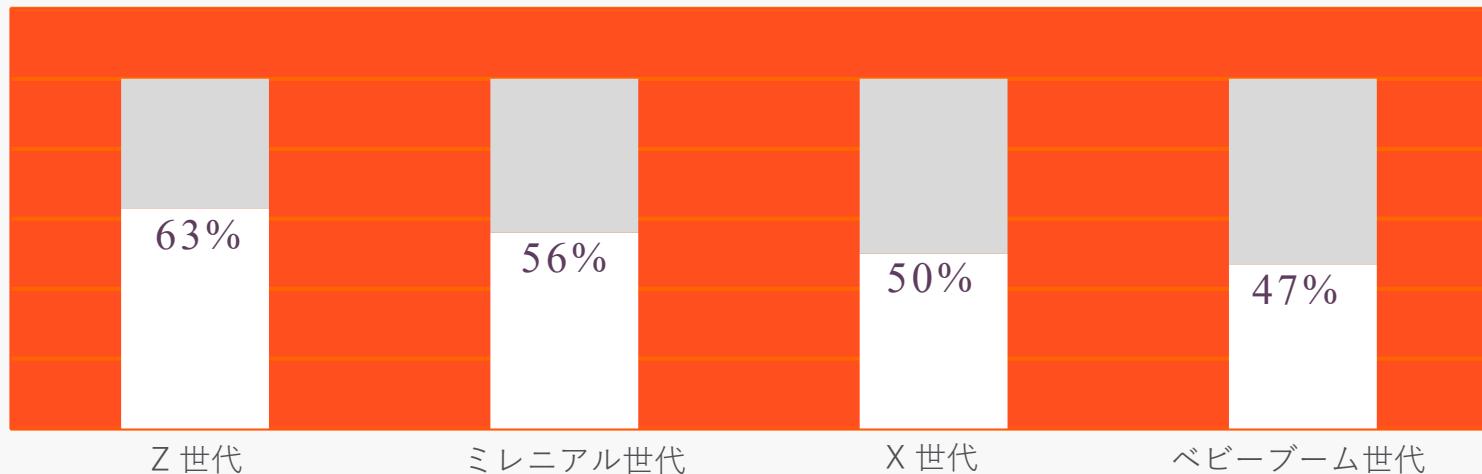


年代別で見る共感性

Z世代の回答者の大半は企業が共感性を持って問題解決に取り組もうとしていると考えている一方、ベビーブーム世代はもっと気持ちの理解を求める傾向にあります。



本リサーチはWakefield Research社が2020年3月30日～4月3日にかけてアメリカ、オーストラリア、ドイツ、日本、ニュージーランドとイギリスでインターネットで実施したものです。誤差範囲は+/- 1.4となっています。参照元：Genesys (www.genesys.com)